

ねがたびと

題字：降矢玄龍先生

発行日 令和4年12月6日
 発行者 袖ヶ浦市根形公民館
 〒299-0255
 袖ヶ浦市下新田 1277
 ☎0438-62-6161

令和4年度第36回 根形公民館まつり 地域の皆様 ご来観ありがとうございました!

「令和4年度第36回根形公民館まつり」を3年ぶりに開催しました。テーマは『つくろうそだてよう 心かよう 根形文化』です。根形公民館登録サークルや利用者、地域の子どもたち等の日頃の学習成果を発表する機会とするとともに、各種の催しをとおして、コロナ禍での地域の交流の場として開催しました。

開催日は10月29日（10時～16時）と30日（10時～15時）の2日間です。新型コロナウイルス感染拡大防止のため3密を避け、マスク着用や検温の実施、手指消毒等を行い実施しました。来観者・発表者・スタッフを合わせた2日間の合計人数は1,900名と、多くの方に来観いただきました。

なお、この公民館まつりの参加者は、以下のとおりです。

展示部門 27団体 陶芸11（陶、彩の会、亜々土、土喜、土楽、形、陶楽、椿、釉、窯、陶芸教室）、絵画8（悠、快心、遊心、パレット、イーゼル、成人絵画教室、花まる絵画教室、子ども絵画教室）、書道2（根形書友会、望陀書友会）、生け花1（優華会）、写真1（写団上総）、その他4（根形保育所、根形小学校、根形中学校、凧）

発表部門 13団体 袖ヶ浦高校音楽部、タンポポ、ジュニアお箏教室もみじ、根形小合唱部、上総シニアアンサンブル、DSCシルエット、NESUPOフラダンスレアレア、袖ヶ浦市ジュニアオーケストラ、吟詠雲風会、カントリーダンス根形、榎若小勸、根形中吹奏楽部、和太鼓にぎやか座

体験部門 9種類 インディアカ、インドアローンボウルズ、テニス、陶芸教室、油絵教室、料理教室、石膏手形と木工、凧作り、ボーイスカウト。その他にも、消防車両展示、農産物等即売、本のリサイクル市、陶芸作品即売、販売（焼きそば・パン・カレー・飲み物・揚げ物・クッキー等）と、全部で59の団体に参加していただきました。

皆さん、とても素晴らしい作品の出品、発表などをしていただき、ありがとうございました。



オープニング



作品展示



油絵体験

第36回根形公民館まつりの続き (フォトメモリアル)



根形小合唱



根形中吹奏楽



模擬店等



日本舞踊



合唱



フラダンス



琴の演奏



木工体験



フィナーレ

根形小学校で防災学習会を実施しました！

9月2日(金)午前、根形小学校全児童を対象に、小学校と根形公民館共催による防災学習会を開催しました。地震災害を想定し、避難訓練や家族被災者の講話、体育館に設営された模擬避難所の見学等を行いました。実際に地震等が発生した際の様子や避難所の状況を知ること、児童の災害に対する意識を高めることを目指し実施しました。

模擬避難所見学では、市役所防災安全課職員が講師となり、避難所内に設置するワンタッチパーテーション、簡易ファミリールーム、段ボールベッドなどを使用して、プライバシー保護や感染症対策、段ボールベッドの寝心地なども体感し、小学校の災害用備蓄倉庫に備えられている備蓄品等を確認しました。

講話では、元市原市内の小学校長で宮城県気仙沼市出身の小野寺源彦氏を講師に迎え、自身の被災体験や学校の防災訓練で津波の恐ろしさを学んでいた小学生が家族に呼びかけ高台に避難することを呼びかけ、無事命を取り留めた実話を映像等で紹介しながら、避難訓練の大切さを説きました。なお、講話はリモートで行われ、児童は各教室で視聴しました。



12月24日(土)
ねこまる クリスマス
パーティを開催します



N.O.C と根形公民館の共催による『ねこまるクリスマスパーティー』を12月24日(土)の午後、根形公民館で開催します。小学校1年生から6年生を対象に、壁掛ツリー作り、そり引きゲーム、ビンゴ大会などを行います。小学生、N.O.Cにとって今年最後の思い出作りになればと思います。プレゼントも用意していますので、一緒に楽しいクリスマスを過ごしてみませんか。



作品展

予告!

3/11~3/19
(土) (日)

サークル作品展

第17回『根形公民館サークル作品展』を開催するべく、準備を進めています。現在新型コロナウイルス感染症が拡大傾向にありますが、3月の開催時期には、感染状況が落ち着いていることを期待しています。

日頃、公民館で活動する絵画・書道・陶芸等、各サークルでの一年間の創作活動の集大成として作品が展示されます。ぜひ、おでかけの予定に入れてください。

根形中学校で防災学習会を実施しました!

令和元年の台風では、私たちは台風の恐ろしさを目の当たりにしました。また、令和3年3月に政府の地震調査委員会から今後30年以内に震度6弱以上の激しい揺れに襲われる確率が、千葉市で62%と高い数値が示されるなど、千葉県では大地震が起こりえる状況にあります。これらのことから、防災学習をとおして学校・家庭・地域が助け合うとともに、子供たちの防災知識・意識の向上を目指して、根形公民館では昨年度から地域人材育成講座の一環として取り組んでいます。

今年度は10月11日午後「地域の一員として、中学生のできる防災活動」をテーマに、講師(減災と男女共同参画研修推進センター共同代表 浅野幸子氏)より、避難所における人権、避難所内での安全対策・プライバシー対策・防犯対策・地域の人との助け合い等についてお話をいただきました。

講話を聞いた後は、学年別に分かれて1年生は避難所設営ベッド・パーテーション作り、2年生は袖ヶ浦市消防局の指導による心臓マッサージの基本・AEDの活用法、3年生は避難所生活において必要な「かまど」の火おこしと消火活動(水の消化器を使用)を、それぞれ体験しました。

生徒たちは、真剣なまなざしで講話や体験活動に取り組んでいました。この体験が、いつ、どのような場面で活かされるかは分かりませんが、生徒たちにとって、この「防災学習会」での経験が、将来の実生活に何らかの形で役立ってくれば幸いです。



避難所設営(1年生)



心臓マッサージ(2年生)



かまどの火おこし(3年生)

鎌倉街道ものがたり (3)－源頼朝伝説－

郷土博物館 井口 崇

房総には数多くの源頼朝伝説が残っている。安房を発った頼朝の軍勢が北上したと考えられている西上総地域では、東京湾の沿岸部にとどまらず、内陸部にも分布している。西上総の鎌倉街道研究の嚆矢^{こうし}となった小熊吉蔵^{おぐまきちぞう}は、木更津市中烏田字曲り坂に所在する「かまくら道」と記された道標を手がかりに、根形や平岡等に残る「頼朝伝説」と「鎌倉街道地名」を繋いでいって、歴史の道百選となっている「鎌倉街道－上総路－」を推定した。前回紹介した鎌倉街道だと伝わる複数のルート上にも頼朝伝説が残されてはいるが、今回は、この小熊吉蔵が推定復元した鎌倉街道の沿線、飯富と下新田で聞いた頼朝伝説を紹介したい。

飯富の頼朝伝説

- ・源頼朝は飯富の飽富神社に参詣し戦勝を祈願したという。(話者不詳)
- ・東に向かう頼朝一行の道案内を務めた人物がいた。その人は三ツ作の人であった。頼朝はツユサキの姓とホウキノカミ^{ほうきのかみ}(伯耆守)という役職名を与えたという。(故伊藤昭二さんから聞いた話)
- ・地元の人が頼朝に食事を提供したところは塚になっていて飯籠塚^{いごづか}といった。削平されて今はなくなっている。現在の社会福祉協議会があるあたり。(話者多数)

下新田の頼朝伝説

- ・八幡神社のご神体は、馬に乗っている源頼朝だといわれている。(話者多数)
- ・鎌倉街道は峯下氏所有の田の中を歩いて八幡神社前に通じていた。八幡神社の前は馬場だった。
- ・頼朝は八幡神社に一泊した。この時に、峯下、山口、佐久間、遠藤の四軒が世話をした。それぞれに苗字を賜った。
- ・頼朝は八幡神社に白羽の矢を2本奉納して、祈願をした。その晩、夢枕に山王様が現れて「東に向かって進めば光あり」と告げた。翌日、東方に進み平岡村

の川原井へ抜けた。そこで頼朝の家来が万騎になった。そこで旗を切り替えようということになった。その周辺には今も「キリカエ」という名字が何軒かある。そのあたりにある坂を「マンガ坂」という。(以上は、故峯下秀さん(T5年生れ)から聞いた話)



下新田八幡神社の騎馬武人像
(1983年筆者撮影)

※川原井の六万坪に字「馬ノ坂」があり、「マンザカ」とも呼ばれている。

日本民俗学の創始者とされる柳田国男は、伝説とはイワレ、イヒツタエとよばれてきたものの一種であり、しばしば昔話と混同されているとしながらも、①信じられていること、②具体的な事象と結びつくこと、③形式をもたない。という特性によって、昔話とは区別されうるとした。

西上総の源頼朝伝説は、勿論、口頭で伝承されてきたものだがそれは、昔話のように空想や虚構に満ちてはいない。そして受け継いできた人びとは極めて素直、真摯であり、控えめにしか話してはくれないが、史実に近いものと信じている。またそれらは、地名の起源となったり、頼朝の行動にかかわった人々にとっては苗字を賜るという「家の誇り」にもつながっている。さらには、食事をとった飯籠塚や滞在の証となる騎馬武人像といった、そこで起こった歴史的な事件を事実^{じじつ}に近づける具体的なものが用意されていて、集団の記憶となっているのだ。伝説は史実ではないが、こうした地域における集団の記憶を受け継ぐことが重要だ。新しい視点で地域を発見していく未来のために。(次号へつづく)